

私の希望表明書

私は、協会発行の「リビング・ウィル（終末期医療における事前指示書）」で、延命措置を受けたくないという意思をすでに表明しています。それに加えて、人生の最終段階を迎えた時に備え、私の思いや具体的な医療に対する要望をこの文書にしました。自分らしい最期を生きるための「私の希望」です。

記入日 _____ 年 _____ 月 _____ 日 本人署名 _____

希望する項目にチェックを入れました。

1. **最期を過ごしたい場所**（一つだけ印をつけてください）

- 自宅 病院 介護施設 分からない
その他（ _____ ）

2. **私が大切にしたいこと**（複数に印をつけても構いません）

- できる限り自立した生活をする 大切な人との時間を十分に持つこと
弱った姿を他人に見せたくない 食事や排泄が自力でできること
静かな環境で過ごすこと 回復の可能性があるならばあらゆる措置を受けたい
その他（ _____ ）

※以下「3」と「4」は、署名者が「ただ単に死期を引き延ばすためだけの延命措置はお断りします」という表現では伝えきれない希望や、「止めてほしい延命措置」の具体的な中身を明確にするためのものです。

3. **自分で食べることができなくなり、医師より回復不能と判断された時の栄養手段で希望すること**（複数に印をつけても迷うときはつけなくてもよいです。）

- 経鼻チューブ栄養 中心静脈栄養 胃ろう 点滴による水分補給
口から入るものを食べる分だけ食べさせてもらう

4. **医師が回復不能と判断した時、私がして欲しくないこと**

- （複数に印をつけても結構ですし、迷うときはつけなくても結構です。）
心肺蘇生 人工呼吸器 気管切開 人工透析 酸素吸入
輸血 昇圧剤や強心剤 抗生物質 抗がん剤 点滴

5. **その他の希望**

【用語の説明】

***心肺蘇生**：心臓マッサージ、気管挿管（口や鼻から気管に管を入れる）、電気的除細動、人工呼吸器の装着、昇圧剤の投与などの医療行為。

***人工呼吸器**：自力で十分な呼吸ができない状態の時に、肺に機械ポンプで空気や酸素を送り込む機器。マスク装着のみで行う場合もあるが、重症の際はチューブを口や鼻から入れる気管挿管を行う。1～2週間以上続ける場合は、のどに穴を開ける気管切開（喉仏の下から直接気管に管を入れる）をしてチューブを入れる。

***胃ろうによる栄養補給**：内視鏡を使い、局所麻酔で胃に管を通す手術を行う。その管を通して栄養を胃に直接注入すること。